

みずほCustomer Desk Report 2019/01/25 号 (As of 2019/01/24)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.60
TKY 9:00AM	109.50	1.1386	124.66	GBP/USD	1.3083
SYD-NY High	109.80	1.1391	124.89	AUD/USD	0.7147
SYD-NY Low	109.42	1.1289	123.79		0.7167
NY 5:00 PM	109.63	1.1306	123.94		0.7081
					0.7092
NY DOW	24,553.24	▲ 22.38	日本2年債	-0.1600	1.00bp
NASDAQ	7,073.46	47.70	日本10年債	0.0100	1.00bp
S&P	2,642.33	3.63	米国2年債	2.57	▲ 2.2bp
日経平均	20,574.63	▲ 19.09	米国5年債	2.55	▲ 3.40bp
TOPIX	1,552.60	5.57	米国10年債	2.71	▲ 3.41bp
シカゴ日経先物	20,565.00	▲ 10.00	独10年債	0.1790	▲ 4.40bp
ロンドンFT	6,818.95	▲ 23.93	英10年債	1.26	▲ 6.10bp
DAX	11,130.18	58.64	豪10年債	2.2635	▲ 1.80bp
ハンセン指数	27,120.98	112.78	USDJPY 1M Vol	6.58	▲ 0.16%
上海総合	2,591.69	10.69	USDJPY 3M Vol	7.13	▲ 0.03%
NY金	1,279.80	▲ 4.20	USDJPY 6M Vol	7.62	▲ 0.02%
WTI	53.18	0.56	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	179.24	0.58	EURJPY 3M Vol	7.91	▲ 0.02%
ドルインデックス	96.56	0.44	EURJPY 6M Vol	8.38	0.03%

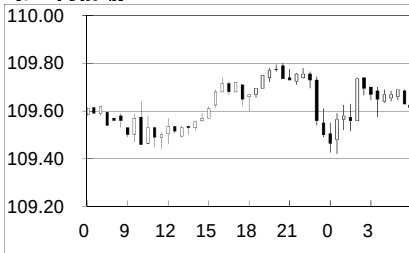
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
1月24日	17:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	1月 49.9/53.1/52.1	51.5/52.1/51.9
	18:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	1月 50.5/50.8/50.7	51.4/51.5/51.4
	21:45	欧 ECB理事会 ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40%	0.00%/0.25%/-0.40%
	22:30	欧 ドラギECB総裁 保護主義の脅威など根強い不透明感が景況感を圧迫	-	-
	22:30	米 新規失業保険申請件数	199k	218k
	23:45	米 マークイット製造業/サービス業/総合PMI	1月 54.9/54.2/54.5	53.5/54.0/-

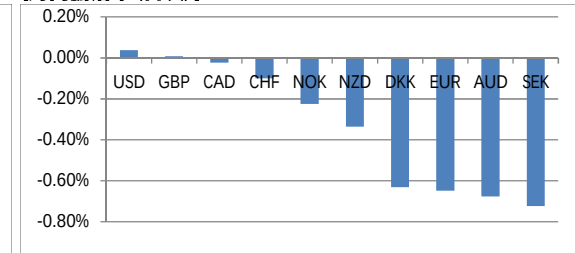
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
1月25日	18:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	1月 100.7/97.1/104.2	101.0/97.3/104.7

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.00	1.1250-1.1350	123.20-124.50

[マーケットインプレッション]

昨日の相場はユーロ主導の展開。欧州のPMIが予想対比悪化する中、1.1380付近から1.13台前半まで下落。その後のECB理事会では市場予想通り政策金利の据え置きが決定されるもドラギECB総裁が会見で「景気見直しに対するリスクは下向いている」と言及。その後、「独政府が今年の成長見通しを約1%下方修正」との報道で1.1296まで下落した。ドル円はロス米商務長官の「米中貿易問題は解決から遠い」との発言やクロード・NEC委員長の「1月の雇用統計はかなり上昇する可能性がある」との発言で上下動する場面も見られたが109円台半ばでの小幅なレンジでの推移となった。本日のドル円は109円台での推移を予想する。主だった指標の発表が予定されていないことや米中貿易問題に関しては結果待ちとなる中、ドル円が大きく動く可能性は低いだろう。

東京	東京時間のドル円は109.50レベルでスタート。安く寄り付いた日経平均株価が前日比プラス圏に上昇する動きを見せるも、ドル円の上値は重く推移。ECB理事会を控える中、材料に乏しくドル円も109円台中盤で揉み合う展開となり、109.68レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.68レベルでオープン。米10年債の下落にドル円も一度は109.60まで値を下げたが、1月のフランスPMIや1月のユーロ圏PMIの低調な結果にユーロが売られドルが買われると、ドル円も上昇し109.76レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3073レベルでオープン。特にBrexitに関する動きも無く材料難の中、下落したユーロドルにつられポンドドルも下落。1.3016レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ドル円は109.76でNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回るが、ロス米商務長官が中国との貿易摩擦解決には程遠いとの見方を示したことから、ドル円は109.59まで下落。ドラギ総裁の定例記者会見では、成長の下向きリスクなど、最近の低調なユーロ圏経済指標を反映する内容となり、ユーロ円が下落する動きにドル円も連れて下落。その後はユーロドルが買い戻される展開に、109.42まで下落。その後は外ロ・NEC委員長が「1月の雇用統計はかなり上昇する可能性」と発言したことから来週金曜発表の結果に対する期待からドル買いが強まり、109.74まで戻す。午後は、上院で壁の予算を盛り込んだ共和党案、民主党のつなぎ予算案ともに否決され、109.55まで反落し、109.63でクロスした。一方、ユーロドルは1.1340でNYオープン。朝方は、ドラギ総裁の11派な記者会見内容を受け1.1307まで下落したが、このレベルでは買い意欲もあり、1.1381まで戻す。しかし前述のクロード・NEC委員長の発言を受けドルが買い戻される展開に、5週間ぶりにユーロドルは1.13を割り込み、1.1289まで下落。終盤に掛けては、調整からやや値を戻し、1.1306でクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:田家・森谷